

JAPAN
ASSOCIATION OF
CERTIFIED
CARE WORKERS

介護福祉士の本

CARE
WORKERS
BOOK
2024

介護福祉士以外の人も読んでほしい。これからの介護福祉について考える本。

巻頭
interview

Bリーグ 宇都宮ブレックスキャプテン

田臥 勇太

選手

プロに学ぶ

チームづくり

公益社団法人
日本介護福祉士会



この冊子は、宝くじ[®]の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



プロに学ぶチームづくり

宇都宮ブレックス キャプテン

田臥 勇太 選手

チームを導くキャプテンやリーダーに絶対的な正解は存在しない。

その時代や環境、チームのメンバー構成によっても理想のリーダー像は変わっていく。

バスケットボール界のパイオニア、田臥勇太選手にチームづくりや仕事への向き合い方について聞いた。

目標に向かって 最高のチームをつくる

能代工業高校時代から現在まで、司令塔と呼ばれるポイントガードのポジションを務めてきました。所属する宇都宮ブレックスではキャプテンも任ざれており、全員が同じ方向を向き、一丸となって目標に向かっていくようなチームを目指しています。

チーム内には個性あふれるメンバーが多く、国籍や年代によっても考え方に違いがありますが、そうした多様性のあるチームをまとめるためにも、それぞれの考え方を尊重するようにしています。

僕は自分の考えを押し付けるようなことは好きではないので、みんなで話し合いながらその時々でのベストな方法を探ることを大切にしています。ときには、チームの中で違った意見や考えが出たりすることもあります。そんなときは時間を掛けて何度も話し合いをします。そうやってチームみんなで課題を乗り越え、「優勝」という大きな目標に向かって最高のチームをつくっていくこと。毎シーズン、こうした

チャレンジができることを心から楽しんでいきます。

プロとして 真摯に向き合っていく

僕はこれまでの人生の中で、一度もバスケットを辞めたいと思ったことがありません。もちろん辛い経験もしましたが、アメリカに渡りNBAに挑戦したときは、うまくいかないことの方が多かったですが、自分の考えを削ぎ落していくと「やっぱりバスケットボールが好きだ」という、シンプルな想いに辿り着きました。

今は若い頃のようにには動けなかったり、なかなか疲れが抜けないなど、体の変化を受け入れなければいけないこともあります。その分、睡眠時間に気を遣ったり、入念にストレッチをしたり、しっかりと準備することを心掛けています。年齢を重ねても大好きなバスケットに情熱を注げることに感謝し、1年でも長く続けていきたい。そのためにもプロとしての誇りを持ってバスケットに真摯に向き合っていくことが、トップレベルでプレーする責任だと感じています。

人を元気に、笑顔にしたい

僕たちはバスケットを通してスポーツの素晴らしさを伝えたり、観ている人を元気に、笑顔にしたいと思っています。が、介護の仕事も人のためになる仕事なので、きっと皆さんの仕事に支えられ生活できている人がたくさんいると思います。日々の業務の中には大変なこともあると思いますが、その分やりがいも楽しさも感じられると思いますし、何より社会貢献にも繋がります。何かせない仕事です。これからのご自分の仕事に誇りを持ち、情熱を持って取り組んでいただきたいですね。

PROFILE

田臥 勇太(たぶせ ゆうた)選手

1980年生まれ。神奈川県出身。Bリーグ宇都宮ブレックスキャプテン。ポジションはポイントガード。

秋田県立能代工業高等学校時代には史上初の9冠を達成し、世界ジュニア選抜に選ばれた。

2004年にはフェニックス・サンズの開幕ロースターに入り、日本人初のNBAプレイヤーとなった。

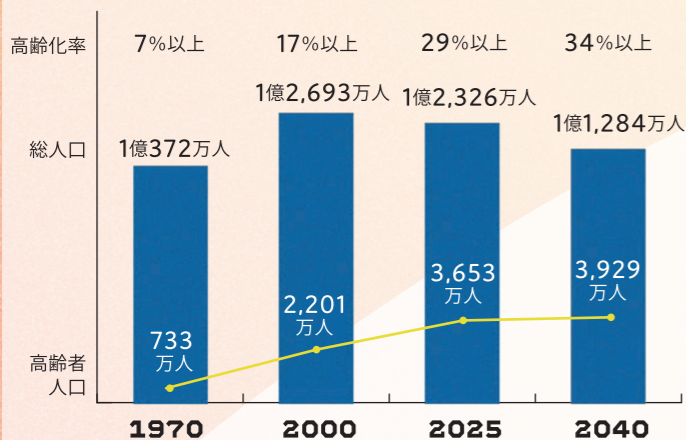
帰国後は現宇都宮ブレックスで活躍を続け、2016年に開幕したBリーグではチームを初代チャンピオンに導いた。

#0
Yuta Takuse

介護のこれまでとこれから

・高齢者(65歳以上)
 ・高齢化率(人口に占める65歳以上の割合)
 ・資料:「日本の将来推計人口(令和5年推計)」出生中位(死亡中位)推計
 (国立社会保障・人口問題研究所)より作成

日本の人口・高齢者人口推移と推計

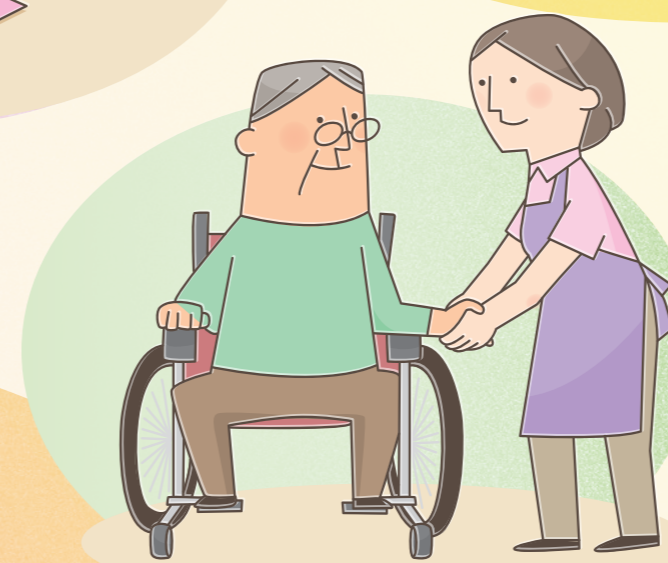


2024年頃

パリオリンピック・パラリンピック

多様なサービス、多様な担い手

この間、2013年の介護保険法改正により「施設から在宅へ」の理念のもと、地域包括ケアシステムの実現を目指すなかで多様なサービス体系が生まれました。さらに、地域共生社会の実現に向けた取り組みも進んでいます。外国籍の方をはじめとする多様な介護人材も活躍するなど、時代の流れを受けて介護福祉士に求められる役割も多様化・高度化しています。



2000年代

ディズニーシー開園、ハリポッター、日韓ワールドカップ、タマちゃん

介護保険制度がスタート

1989年に国家資格である介護福祉士が誕生し、家族介護の時代からプロによる介護の時代が到来しました。また「誰もがいつか必要となる介護を、社会全体で支える」という共助の考えのもと、2000年に介護保険制度が導入されました。利用者の意思で必要とするサービスを選択・契約できるように、利用者主体の考え方が浸透していききました。

1970年代

日本万国博覧会、ボーリング、上野にパンダ初来日、マクドナルド1号店

老人福祉法時代の介護

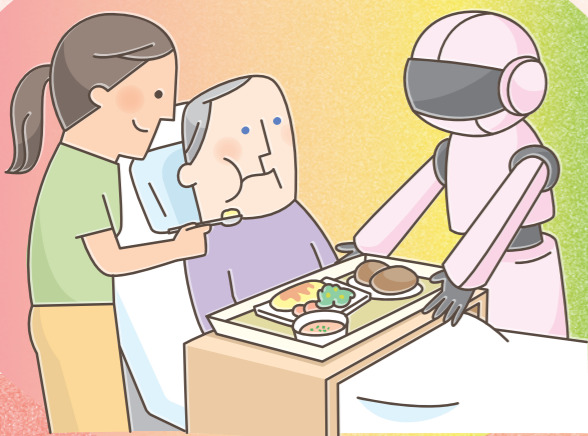
この時代は、家族が主な介護の担い手でした。介護は行政の「措置」に基づいて提供されていたため、介護施設はどちらかというと低所得層や身寄りのない方々が入所するものでした。在宅生活の継続が困難となった高齢者が長期入院を余儀なくされる(社会的入院)など、自立支援とは程遠い、画一的なケアが中心でした。



2040年頃

介護版産業革命への期待

2040年頃には、超高齢社会の加速と生産年齢人口の更なる減少が予想されています。持続可能な地域共生社会を実現するため、多様な介護人材の活用、デジタル・テクノロジーの普及、LIFE(科学的介護)の推進を柱とする「介護版産業革命(造語)」を期待する声もあります。介護職員、利用者、地域住民等、すべての方々が安心・快適に暮らすことのできる社会を目指して、介護福祉士にはこれからも介護福祉の専門職として、高度な介護実践の追究と学術分野での貢献が期待されています。



措置制度(老人福祉法)から介護保険制度(介護保険法)へ

措置制度(老人福祉法)

【背景】
 少子高齢化の影響に加え、高度経済成長期に地方から都市部へ人口が流出したことで核家族化が進行。家庭内での介護が困難となるケースに対応するため、「公助」として行政措置による介護サービスが提供された。

介護保険制度(介護保険法)

【背景】
 高齢者介護や認知症に対する社会の関心が高まり、介護を社会全体で支えるという「共助」の仕組みが確立。要介護状態になった人が、本人の持つ能力に合わせて自立した社会生活を営めるよう、保健・医療・福祉サービスの充実が図られた。

介護はかつて 家族が中心に担っていた

日本の介護の歴史をみていくと、2000年に誕生した介護保険制度を境に、大きな変化がありました。制度以前の日本社会は、二世帯、三世帯同居が多く、介護を担うのはほとんどが家族でした。

ところが高齢化が進むにしたがい、介護を必要とする人が急速に増加、介護期間が長期化し、介護ニーズが非常に増えていきました。一方で、核家族化、少子化、介護をする家族の高齢化など、介護を支えてきた家族の環境も変化し、従来の老人福祉・老人医療制度で高齢者を支えていくことに限界が生じてくるようになっていきました。

そこで、急増する介護ニーズに対応する専門職として、「介護福祉士」という国家資格が1987年に誕生しました。これにより、家族で支えきれなくなった介護を、知識や技能を習得したプロの担い手である介護福祉士が担い、介護が社会化されるようになったのです。

介護保険制度がスタートし 利用者主体の考え方が浸透

こうした経緯を経て2000年に新しく生まれたのが、介護保険制度です。この制度がスタートしたことにより、高齢者に対する福祉は大きな変貌を遂げました。介護は「公助・措置」から「共助・契約」の時代に移り、介護を必要とする方々を社会全体で支える仕組みが整備されました。

また、利用者は介護サービス利用料の1割を負担することで(応益負担)、自らの意思で介護サービスを選択できるようになり、自己決定の尊重や利用者主体といった考え方も急速に介護の現場に浸透していききました。

多様化・複雑化する社会と 介護のこれから

2024年現在、高齢化の進行とともに生産年齢人口(働く人の数)が減少し、多くの業界で人材不足が深刻な問題となっています。介護現場ではアクティブシニアや外国人介護人材など多様な人材を受け入れることで、介護サービス需要を支える担い手を確保する努力が続いています。

併せて、スマートフォンやタブレットデバイスなどのデジタル機器やテクノロジーの活用が介護現場でも徐々に進められています。今後、介護現場の業務の見直しが進むことが考えられます。介護福祉士は利用者に対する質の高い介護サービスの提供のほか、自職場の環境整備として、業務改善のマネジメントや介護職チームに対するリーダーシップの発揮など、中核人材としての活躍が期待されています。また、介護現場での実践に加えて、現場の介護実践を支える理論の構築など、専門職としての学術面での貢献もより一層重要となっていくでしょう。

介護の仕事の広げかた

どんな職種、業界でも、日々働くなかで『このままでいいのだろうか』と、自分のキャリアについて悩むタイミングはあると思います。

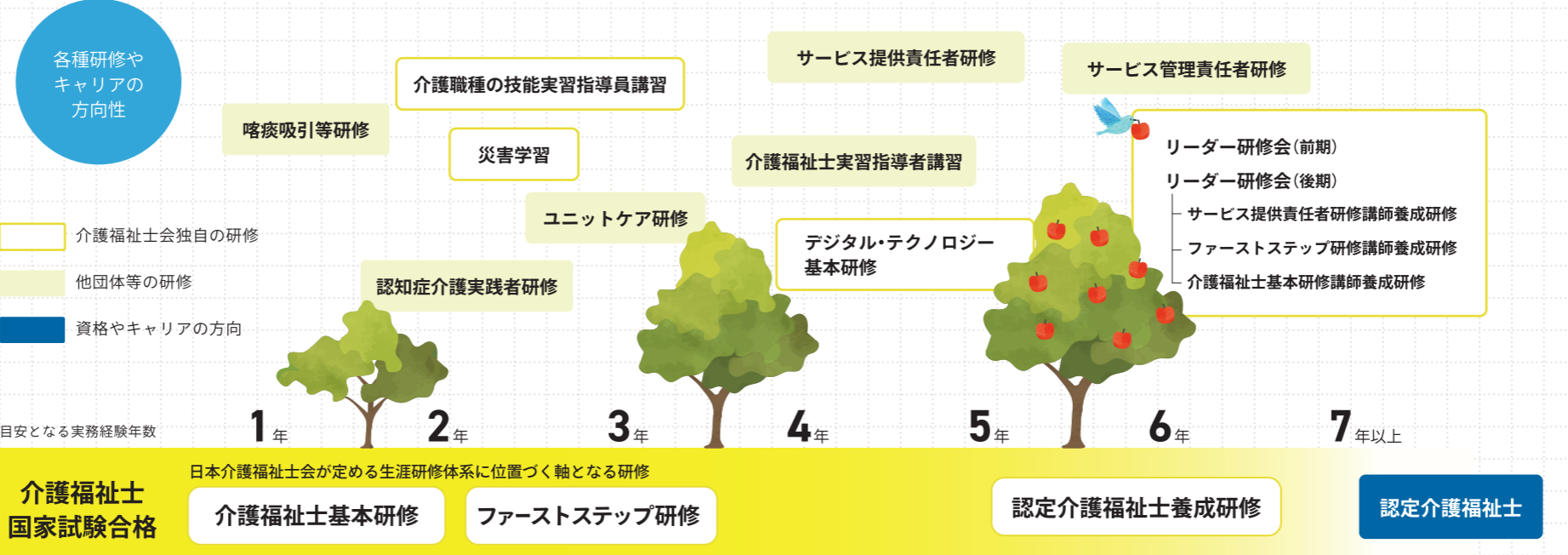
介護福祉士の資格を取得したあと『次はどうするべきかわからない』『キャリア形成はこれで終わりか』と不安に思っている方もいるでしょう。そこで今回は、介護福祉士の専門職として働く介護福祉士には、どんな仕事の広げかたやキャリアの道があるのか、みていきたいと思います。

自らのキャリアを選択する

介護の仕事をしている方の悩みとして、待遇面と並んで大きいのが『成長できているか』『チーム、組織に貢献できているか』、また『将来が不安』といった悩みです。介護福祉士の資格を取得し、現場での経験を積んだあとも、介護福祉の専門職として、社会やご利用者に貢献する道はたくさんあります。

『認知症ケアや看取りケアなどの特定スキルを高めたい』や『職場はもろろん職場以外の現場でも介護力向上のために学びたい』、『管理職になって現場の介護職をまもりたい』など、人によって目指す先は様々です。どのようなキャリアを望んでいるのか、具体的に考えることで自分に必要な研修や行動がみえてきます。

人生100年時代、ライフステージに合わせて、意欲が高まったときや必要となるとき、自由に学び、自らのキャリアを選択していくことはこれから重要になっていくでしょう。皆さんが多くの人に興味を持ち、学ぶことで介護の世界がより豊かになり、ご利用者にとってより良い介護に繋がっていきます。



学びを継続させる

「毎日おこなっている業務でも、いざ自分が教える立場になると上手く伝えられない」「ご利用者のためにどのような介護が良いのかを考えても、自分の持っている介護の引き出しが少なく、もどかしい」と思うことはありませんか？

介護福祉士は資格を取って終わりではありません。自信を持ち、根拠に基づいた説明ができるようになるには、介護に対する学びを継続させ、実践することが重要です。

図の黄色い帯にある日本介護福祉士会が示す生涯研修体系では、介護福祉士の専門性を担保し、求められる役割を担うために必要な知識等を習得することができます。その他、介護職員が「喀痰吸引」と「経管栄養」をおこなえるようになるための「喀痰吸引等研修」や、現場で「介護実習」を指導するために必要な、専門的知識や教育方法を習得できる「介護福祉士実習指導者講習」もあります。

また、質の高いケア実践のため、介護ロボット・ICT等の効果的な活用を通して、介護職チームの業務改善をリードできる人材を養成する研修「デジタル・テクノロジー基本研修」は、現場経験が3年以上であればどなたでも受講することができます。

グローバル化に伴い、介護職種の技能実習生の技能修得等が円滑に図られるよう、介護現場で指導に当たることになる技能実習指導員等を対象とした「介護職種の技能実習指導員講習」も、全国各地で開催されています。

ここに記載した、研修やキャリア形成の道はごく一部です。ご自身の興味や関心、キャリアプランに合わせて学びを深めていきましょう。



研修を受講してみてどうでしたか？



研修受講をきっかけに、意識・働き方・キャリアが変化
藤澤 稔 さん
MINORU FUJISAWA

ファーストステップ研修で自分自身大きく成長したと実感し、「もっと勉強したい」と思うようになりました。

当手を振り返ると、それまでの私は介護過程を展開する力や、チーム実践力が不足していました。ファーストステップ研修を受講し学んでいくなかで、介護実践について少しずつ言語化できるようになってきました。この研修での学びを経て、根拠を示し他職種を含むチームメンバーと連携することが、何となくできるようになったと実感しました。

自分の成長に気付いたことで、学ぶことの面白みを感じるようになり、色々なことに興味を持ちながら仕事に向き合えるようになりました。

ファーストステップ研修受講から5～6年後に、認定介護福祉士養成研修(以下認定研修)を受講しました。認定研修の受講を進めるなかで、仕事のスタイルや考え方も変わっていききました。

EBP(エビデンス・ベースド・プラクティス)を重視し、定性評価や定量評価を実践に取り入れ、根拠をもとに提案や実践に繋げていくスタイルは、認定研修で得た一番の財産だと思います。

認定研修のなかで学びを深めたり、気になる点について論文を調べたりといったことを繰り返すうちに、根拠の示し方やデータの集め方といったスキルが自然と身につきました。

認定研修修了後、通信制大学で心理学について学び、2022年度に公認心理師の資格を取得しました。認定研修での学びを経て、特に私は介護業界における心理的支援の専門性の発展を課題と捉え、心理分野(特に臨床心理学)に非常に興味を持ったことが資格取得の背景です。

「介護福祉士は資格を取ってからがスタート地点」とよく言われますが、資格取得後の継続的な学びを通して自身を高めていけるという点では、介護福祉士にしる、他の資格にしる、どの専門職にも共通していると思います。

つづきはWEBで



藤澤 稔 さん
結いまる井川城施設長。介護福祉士養成校卒業後、介護療養病棟、医療法人本部での勤務を経て、現在は出向先で有料老人ホームの施設長を務める。

モヤモヤ QA

こんなときどうすればいい？

現場から寄せられたお悩みに
様々な立場の介護福祉士が
今日のモヤモヤは
きつと未来へのヒントになるはず。

理想と現実のギャップ、どうしたらいい？

1年目の職員です。介助する際の心得として、利用者の方に合わせた丁寧な介助を心がけるよう学校で教わりました。ですが実際の現場では人手も時間も限りがあります。就職したばかりで手際良く動けないことも原因の一つではありますが、理想とする介護と現実とのギャップに戸惑っています。

A ていねいに関わる気持ちだけはわすれずに

私もその壁にぶつかりました。入社しては、手際も要領も悪いのは仕方ありません。みんなそうですから。ただ、養成校で学んだ、丁寧に関わる気持ちだけは忘れず持ち続けてください。「ギャップは必ず埋まる」。諦めずに取り組むことが養成校を出た意味でもあり、利用者の皆さんが笑顔で幸せに暮らすことができる一番の近道だと思っています。共に頑張りましょう。

介護福祉士になり26年目になりますが、未だに理想には届きません。しかし、自分次第で考え方は変えられます。人手不足で時間がなくても、相手を思う気持ちや笑顔、優しい接し方など理想的にできることは沢山あるはずです。また、利用者の生活習慣やこだわりを良く見知っている職員は、予測が立つので結果、手際良く介助ができると思います。



介護福祉士 7年目
広島県 特別養護老人ホーム勤務



介護福祉士 26年目 (認定介護福祉士)
静岡県 療養型医療施設勤務

これから どう進んでいけばいいですか？

中堅職員ですが、自分の今後のキャリアのイメージがつかないです。将来の目標が明確でないなかで、何をどう頑張っていけば分からずにいます。キャリアビジョンが明確でないまま今の仕事を続けていくことに不安があります。

A キャリアのビジョンが見えないって、実はふつうのこと

誰もがすぐに自分の将来を描けるわけではないんです。介護福祉士として、これからの道は「現場のプロ」「教育や研究」「経営や運営」などが考えられます。あなたの向いている道は、これからの現場での経験を通して、自然と見えてくることでしょう。また、現在の仕事をしていて楽しかったこと、やりがいを感じたことはありますか？それらの感じたことを手がかりにして、どんな方向に進むとあなた自身が満足できるのかを考えてみてはいかがでしょうか？そして、キャリアのイメージが見えないということは、新しい経験にチャレンジするチャンスでもありますよ。興味のある研修やセミナー、異なる部署への異動など、色々な経験をすることで、自分が本当に興味を持っていること、得意なこと、自分に合った職種を見つけられるかもしれません。



介護福祉士 18年目
静岡県 介護事業所代表取締役

苦手な先輩がいます

同僚や後輩に対して非常に厳しい人で、その先輩がいると職場全体が緊張した雰囲気になります。本当はご利用者のことを第一に考えたいのに、いつも先輩の顔色をうかがいながら仕事をしなくてはなりません。

A とにかく一人で悩まない

そのような先輩はどこの職場にもいますよね。そういうときは絶対に一人で悩まないこと。同僚や話しやすい先輩、もしくは職内外の人に相談できるようにしておいた方が良いでしょう。あとはその先輩を嫌いにならないことも大切だと思います。これは先輩に限らず、チームの一員として働いている限り、仲間を嫌いにならないようにすること、良いところを探すようにしていくことも大切です。



介護の現場は小規模なチームが中心となりますが、それは人間関係が仕事の質に大きく影響する理由となります。「利用者よりもスタッフに気を遣ってしまい疲れてしまう」といったことが起こりやすいですね。スタッフ同士が気軽に話す機会を持ち、感じていることや考えていることを共有できるといいですね。



カジノに学んだ「介護の本質」

元々デイサービスの管理者として、介護サービスを提供していたという森社長。ですが、デイサービスの利用を嫌む方が多いという現実と直面しました。どうしたらデイサービスを楽しんで続けてもらえるか考えるなか、アメリカラスベガスのカジノで、多くの高齢者が、生き生きと楽しそうに過ごしている姿を目の当たりにします。介護の本質は『日常生活の改善や社会からの孤立を防ぐこと』。そこまでのアプローチは自由であることに気が付きました。

麻雀のメンツってめっちゃめっちゃ大切

役員会で大反対にあったものの「失敗したら俺が責任を取るから」と、この事業を始めました。ご利用者の多くは、要介護であることを周囲に知られたくないし、ご自身も実感したくない。そうした「デイサービスを利用したくない理由」を一つひとつ取り除いて完成した施設だからこそ、ご利用者は、機能訓練の体操以外は自由に過ごせます。計算ドリルはなく、代わりにブラックジャックや麻雀等、様々なレクリエーションを自由に選ぶことができます。

つっきはWEB



デイサービス ラスベガス

デイサービス ラスベガス 横浜都筑店
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-19-10 グレイス仲町台1A

WEB
より検索

カイゴのかたち

ご利用者を笑顔にできれば、どんなかたちでも、それはもう素敵介護。利用者ファーストを体現するユニークな事業所さんに、そのかたちをみせてもらいました。

トラベルwithじえぶと

合同会社 P-BEANS トラベルwithじえぶと
愛知県豊田市寿町7-7-5

誰でも当たり前旅行へ行ける社会を創る

「トラベルwithじえぶと」は医療・介護の専門職、そして旅行企画のプロとして、旅行の介護・介助をサポートしています。10年前、旅行に行きたいご利用者の不安に「体の状態を知る私たち専門職がサポートすれば、安心して旅行を楽しんでもらえるはず」と応えたことがきっかけです。

仲間求ム！全国に仲間をつくる

誰でも当たり前旅行へ行ける社会を創る！その想いを実現するためには、旅行のサポートをする仲間が全国に必要です。そのため「トラベラーズパートナー」と「トラベラーズマネージャー」という独自の制度を作り、知識とノウハウを広め添乗できるスタッフを育成する活動もおこなっています。「ネットワークで繋がっていれば、旅行先の情報をもらえたり、行った先でも手伝ってもらえる。仲間が多ければ多いほど安心して旅行に行くことができます」そうお話ししてくれた鈴木さんは、旅行にはプラスの効果しかないと感じているそう。



つっきはWEB



種詩くひと

たねま

「人手不足倒産」物流クライシス」
「2024年問題」

様々な業界で深刻な人材不足が起きている。それは介護の業界として例外ではない。そんななか、将来を見据え、教育の現場で種を蒔くひとがいる。彼は介護を知らない小学生にも全力で介護を語る。ときに感極まり、目を真っ赤にしながら、じいちゃんばあちゃんへの愛を語る。介護への想いを胸に語り部を続けるよっちゃん、広島市立牛田小学校校長の花岡先生、指導教諭の福永先生にお話をうかがった。



広島市立畑賀小学校でのよっちゃんの授業風景。詳しくは左下の二次元コードから。

世の中には色々なプロがいる
子どもたちがどんな進路を選んだとしても、
プロとして誇りを持って仕事をしてもらえればそれでいい



花岡校長先生

福永先生

よっちゃん(吉岡俊昭)
● 広島県介護福祉士会会長
● 日本介護福祉士会常任理事
● トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
介護福祉士学科 学科長

介護福祉士。島根県の特別養護老人ホームで介護職員、生活相談員として勤務。たくさんの高齢者との出会い、別れを経験したのち、母校に戻り教員の道へ。

「皆さんは随分長い付き合い合いだとうかがいました。皆さんがタグを組むようになったきっかけを教えてください。」

福永先生 10年ほど前に別の学校に勤務していたときに、教頭先生から紹介してもらったのがきっかけです。自作のチラシを手に、「小学校で授業をさせてくれ」と営業にきたよっちゃんに、一度授業をしてもらったら、これが感動的。それ以来市内の小学校の校長先生に授業風景を見学してもらったり、私が牛田小学校に転動してからも授業してもらったりといった感じでお付き合いをさせていただいています。

よっちゃん この活動を始めた当初は門前払いの連続でした。チラシを持って小学校にお邪魔したら、先生から「まずは校長会

で話を通してください」と言われ、実際に校長会に行ったら「アポイントがないのでお帰りでください」と言われたことも(笑)

「地道に開拓してこられたのですね。でも、実際に小学生に介護の話をして、それが即座に介護人材不足の解消に結び付くわけではないですよね。」

よっちゃん 最初は、高校生をターゲットに介護の話をしていました。介護福祉士の専門学校で教員をしているので、学生が増えるの良いなと。でも、高校生ってこれまでに培ってきた人生経験で、ある程度進路を決めているんですね。だったら小学生を相手に話さしようって。小学生にとって、

じいちゃんばあちゃん身近な存在。だからこそ子ども心にも響くと思うし、専門学校の新入

生の中にも「昔よっちゃんの授業を受けて介護を目指そうになった」と話してくれる子どもたちもいるんですよ。

花岡校長先生 私は年間のストーリーを持って児童を育むようにしています。「いのちを大切にしよう」というテーマです。その中のひとつが、よっちゃんの授業です。本学で様々なストーリーを学んだ児童が、卒業して人を思いやる気持ち、感謝の気持ちをもってくれようと考えています。

よっちゃん 最近では、毎年100校、1万人以上の子どもたちに介護の話をしています。すべての子どもたちが介護を目指してくれるとは思っていません。世の中には色々なプロがいるし、子どもたちがどんな進路を選んだとしても、プロとして

誇りを持って仕事をしてもらえればそれでいいです。ただ、人に対する思いやりの心や、優しさを持った大人になって欲しい。その中で、介護に魅力を感じてくれる子が出てくれれば良いな、と思って授業をしています。

花岡校長先生 「みんな違ってみんな良い」という言葉があります。これは違いがあるのは当たり前だから、他人のことは気にしないとか、放っておくというわけではありませぬ。それぞれの個性を認め合った上で、お互いに関わり合っていくことを意味していると捉えています。

福永先生 よっちゃんの授業は、子どもたちの心に種を蒔くことだと思っています。よっちゃんの授業を通して子どもたちに「気付き」や「他者への興味」が芽生えたら、通常の授業では

得難い経験になると思います。

よっちゃん 僕は花岡先生や福永先生のように、周囲の方々のサポートのおかげでこの活動を続けることができました。広島県介護福祉士の仲間たちも、この活動に理解を示し、協力してくれています。今後も教育と福祉、介護がタイアップしていく取り組みが全国に波及していくよう、仕組みづくりのきっかけになると嬉しいです。介護福祉士の仲間たちとは、今後も互いに学び合い成長し合える関係性を築いていきたいと考えています。

よっちゃんの授業
詳しくはこちらから
当会公式note



宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。



移動採血車

全国各地で運行している
献血バスを寄贈



ベンチ

全国の公園緑地等に
ベンチを設置



フラワープランター

観光地の環境美化活動の
推進を目的として寄贈



宝くじ桜

日本全国に
さくら若木を寄贈



車いす

博物館利用者のために
車いす等を寄贈



一輪車

体力づくり実践校等に
一輪車を寄贈



バス停留所施設

バス停上屋と
風防施設を設置



すこやか広場

こどもの国(神奈川県)に
健康器具や遊具を設置



検診車

胃部・胸部X線撮影車
として寄贈

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、
教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>